

もっと良くなる！ 富士見市の不登校児童生徒への支援制度

Q & A

不登校の子どものためのQ & A

「みんな学校に行って（行けて）いる」？
そんなことはありません！

Q 学校に行けない、行かない子どもは
どのくらいいるの？

A ※ 不登校児童生徒の人数は全国で約18万人います。
(※30日以上継続して欠席した児童生徒)
(小学校0.8% 中学校3.1%)

Q 富士見市の不登校の子ども
の状況はどうなっているの？

A 富士見市では小学校54名、
中学校84名の子どもが不登校状態にあります。

令和2年度では令和元年度と比べて
小学校の不登校児童生徒の人数が
大幅に増加しました。
また、中学校では、
半数以上が3ヶ月以上継続して欠席しています。

Q 何が課題だと思うの？

A 不登校の子どもが学習できる環境が身近になく
(オンライン授業やフリースクールなど)、
フリースクール等民間の学びでも多額の費用がかかること。
また一度不登校になった子どもが
学習に追いつきづらい状況にあるため、
再び登校したい子どもでも
学校への復帰が困難であることが課題だと考えています。



学校に行けない・行きづらい 子どものための 居場所・相談窓口一覧



「学校内の場所」

「学校外の場所」

	①ふれあい相談員	②学習室（特別教室）	③保健室	④SC	⑤教育相談室	⑥適応指導教室あすなる	⑦あすぽーと	⑧SSW
役割	相談	居場所 学習	居場所 相談	相談	相談	居場所 学習	学習	相談
小学校	△ 小学校ごとに違い 相談できる場合も	○	○	△ 月に1回	○	○	○	○
中学校	○	○	○	○	○	○	○	○
特別支援学校	×	×	×	×	○	×	×	○

学校内の場所

- ①ふれあい相談員
中学校で各校2名。
中学校のさわやか相談室に常駐してくださっている。
- ②特別教室（学習室）
図工室や料理室のこと。
一部、中学校では学習室として空き教室を利用。
養護教諭や教員と一緒に過ごすことができる。
- ③保健室
保健室登校や相談ができる。
養護教諭が対応。
- ④SC（スクールカウンセラー）
市内で6名。
小学校は月1、中学校は毎週or隔週で訪問して下さる。
学校の先生を通じて児童生徒、保護者の面談を行う。

学校外の場所

- ⑤教育相談室
南畑にある教育全般に関する相談を受ける機関。
不登校に関する電話相談も受け付けている。
出張相談も実施。
- ⑥適応指導教室あすなる
教育相談室に敷設されている。
長期間欠席が続いている児童生徒が対象。
在籍する学校の許可の上、通室できる。
学校復帰を目的に学習と体験活動を行う。
- ⑦あすぽーと
埼玉県が行う貧困家庭向けの無料学習塾。
月に1・2回、ばれっとで開催。
教育相談室を通して不登校児童生徒も利用可能。
- ⑧SSW（スクールソーシャルワーカー）
市内で2名。相談室に常駐して下さっている。
支援内容は家庭訪問と他の関係機関との連携。

思うこと...

他自治体では小学校内のフリースクールや、特別支援学校の子どもでも通える居場所を確保している自治体もあります。教育委員会ははじめ、関係者の方は現在も尽力してくださっていますが、今後、多くの不登校の子どもや、苦しみながら学校に行き続けている子どもが一人でも自身にあった学び方を選べるようにさらに取り組みを充実させていく必要があります。



●加賀奈々恵プロフィール

富士見市議会議員・小中学校は不登校。
高校中退後、大検を取得し明治大学政治経済学部を卒業。
卒業後は障害者自立支援施設、針ヶ谷保育園に勤務。
自身の不登校経験から多様な学びの実現が公約。

kagananae@gmail.com 080-4051-7711
鶴瀬東2-16-14 クリオ306

